川根高等学校の「今」を紹介する
学校レポーターズコラム

大盛況の南麓祭・体育の部

川根高等学校放送委員長　山田悠太朗・3年

わたしにとって最後の体育祭

川根高校では9月22日、「南麓祭・体育の部（体育祭）」が開催されました。わたしたち3年生にとっては高校生活最後の体育祭であり、わたしにとっては、放送委員長としての最後の仕事でもありました。

体育祭は生徒が中心となって企画・運営をします。放送委員会はアナウンスや音響などが主な仕事でした。体育祭が盛り上がるかどうかは、実況中継がうまくいくかどうかにかかっています。委員全員が気を引き締めて準備に励みました。

体育祭当日、ある程度プランは考えていましたが、いざ始まってみるとアナウンスや実況がぎこちなかったり、急に変更があったりして、目の前の仕事で手一杯になってしまいました。

しかし、同じ放送委員や運営する生徒に助けられながら仕事をこなしていくうちに、種目の実況を聞いた生徒たちの応援や歓声が次第に大きくなり、会場のムードがだんだん良くなっていくのを感じました。

盛り上がり、そして成功へ

その後も状況に応じて指示を出したり、実況をしている生徒が自分から盛り上げようと工夫してくれたおかげで、後半の種目はとても盛り上がり、体育祭を成功させることができました。

今年の体育祭は地域の人たちや先生・生徒会の招待で参加してくれた園児やお年寄りなど、たくさんの人が協力してくれました。

わたしはその中で、体育祭を運営する責任者の一人として仕事ができたことを誇らしく思っています。

そして何より生徒一人一人が体育祭を楽しんでくれたことが一番うれしかったです。

改めて、地域の皆さんや先生、そして中心となって動いていた生徒会、それと川高生一人一人に感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

地域の人たちや園児も参加した体育祭

責任者の一人として仕事できたことが誇りと話す山田悠太朗さん

column

つれづれなるままに
編集後記

南米チリのサンホセ鉱山で発生した落盤事故。地下700mの暗闇に取り残された33人の作業員たちの、奇跡ともいえる救出劇は10月13日から始まりました。

救出用カプセルが地上と地下を往復し、次々と生還するその顔には、疲労以上に、生きて戻れた喜びがあふれていました。

69日間という長い期間、わずかな食料と劣悪な環境下で生き延びた作業員たち。その心を支え、奮い立たせたのは「情報通信」でした。8月22日、捜索用の小型ドリルの先に付けられていた小さな紙片。「33人全員が避難して無事だ」のメッセージに、地上の関係者は沸き返りました。同29日に開通した電話から初めて聞こえてきたのは、作業員たちの魂の叫びにも似た歌声でした。9月4日にはテレビ電話が開通。娘は画面の向こうの父親に向かって「パパ、愛してる。キスを送って」と訴え、それを聞いた作業員は満面の笑みで「キスを送るよ」と答えました。

心が折れそうになる33人に生きる勇気を与え続け、地上で待つ家族や関係者の心を支え続けたもの。それはお互いの笑顔であり、声であり、それを送受信する情報通信技術だったのです。

「この奇跡に感謝する」と喜び、愛する人と抱き合った作業員たち。かかわったすべての人が笑顔と涙を分かち合っていました。

チリ政府によって早急に手を打たれた「現地の情報化」。手紙に始まり、電話、テレビ電話へと進化していくさまは、まるで通信技術の発達の「縮図」を見ているようでもありました。

この町はどうでしょうか。情報通信は光へと向かうのでしょうか。今現在、その結末は見えてきません。けんけんごうごうとした議論の先に、待っているのはどんな未来か。願わくば、チリの鉱山の救出現場のように、笑顔があふれた未来であってほしい…。そう思わずにいられません。

小笠原聡

未来に向かって投げろ！

より良い品を　より安く
オザワマート
営業時間・午前9時～午後7時
川根本町上長尾　☎56-1108　FAX56-1109

平成22年11月13日土・14日日に交換できます。
11000ポイント引換券
1万円とこの券で11000ポイント販売いたします。
千円分お得です。最高2万円まで販売します。
この券を切り取ってお持ちください。　オザワマート
キリトリ

いつもありがとうございます
皆さんの声を紹介

「おっちょこちょい」なサクラが咲いた。

不思議そうに花を見つめる森永高夫さん、小井由香さん

10月13日、川根自動車（高郷）敷地内の桜が花を咲かせたと、同社従業員の方から電話がありました。出向いてみると、確かに２カ所ほど花が咲いています。この木はソメイヨシノ。ごく普通に、春に咲く桜です。第一発見者の森永高夫さんは「最初に見たときは、綿でも付いているのかと気にも止めませんでした。次の日、やっぱり付いているので、よくよく見てみると花だったんです」と驚いた様子。同社社長の渡辺正昭さんに尋ねると「昭和25、6年ごろに植えた桜だと思いますが定かではありません。今までこんな時期に花を咲かせたことはありませんでした。最近は朝晩が寒く、日中は暑いくらいなので、桜も少しおかしくなったのでは」と話していました。

ご近所の人は、立ち寄った際にぜひご覧ください。よぉく目をこらして、探してみてくださいね。

voice

出生・婚姻・おくやみ
戸籍の窓辺

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
藤川	中村駿斗（はやと）	男	雅一
梅高	中村空暁（そらあき）	男	英生

ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
桑野山	小澤雄介	梅高
	森下幸恵	上岸
下泉	前田善啓	下泉
	増田史帆	島田市
地名	松下治揮	島田市
	栗下香寿美	地名

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
千頭東	長嶋清一	77	利次
梅高	小澤こと	87	小林正
久野脇	諸田邦雄	88	誠
久野脇	松下晟	71	岩子
久野脇	藤田とし	86	泰
田野口	小川義雄	84	公一

▶戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください　▶前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁･総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。

生活健康課　☎（56）2222

family registration

眼科患者さん無料送迎いたします。
ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
（当院に初めて受診される方もご利用いただけます）

島田眼科クリニック
住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
（休診日：水曜日，日曜日，祝日）